

## 1.0 変数と定数

数学では数など扱う対象を  $a$  とか  $b$  とか  $x$  とか  $y$  などの記号で表す. いろいろな対象を表す記号を変数という. 右下に番号を付けた変数  $x_1, x_2, x_3$  などを用いることもある.

数学では数など扱う対象を  $a$  とか  $b$  とか  $x$  とか  $y$  などの記号で表す. いろいろな対象を表す記号を変数という. 右下に番号を付けた変数  $x_1, x_2, x_3$  などを用いることもある. 変数が表す対象をその変数の値という. 例えば自然数を表す変数  $n$  はいろいろな自然数を表す;  $n$  が表す自然数が  $7$  のとき,  $n$  の値は  $7$  であるという.

数学では数など扱う対象を  $a$  とか  $b$  とか  $x$  とか  $y$  などの記号で表す. いろいろな対象を表す記号を変数という. 右下に番号を付けた変数  $x_1, x_2, x_3$  などを用いることもある. 変数が表す対象をその変数の値という. 例えば自然数を表す変数  $n$  はいろいろな自然数を表す;  $n$  が表す自然数が 7 のとき,  $n$  の値は 7 であるという.

ある局面で変数  $a$  の値を一定にするとき, つまり, 変数  $a$  が表す対象を変えないとき, その間だけ  $a$  を定数という. つまり次のようになる:

変数の値を一定にしている間だけその変数を定数という.

なので, 定数とは特殊な状況にある変数である.